114
A4326

No.1.

早稲田大学図書

陸軍省経費豫算差引表

官廨	甲 明治八年七月ヨリ同九年六月マテ 定額金		乙 同九年七月ヨリ同十年六月マテ 経費豫算高		丙 同上 豫算再調金高		丁 甲ノ金高ト乙ノ差引 増減高		戊 甲ノ金高ト丙ノ差引 増減高	
本省	一、七六七、〇二六	〇〇〇	二、〇九七、七六四	〇〇〇	一、五三七、八五三	〇〇〇	三三〇、七三八	〇〇〇	二三九、一七三	〇〇〇
参謀局	一二〇、〇〇〇	〇〇〇	一二〇、〇〇〇	〇〇〇	一三二、七一〇	〇〇〇			一二、七一〇	〇〇〇
近衛局	四二五、二四四	〇〇〇	四六四、九七五	〇〇〇	四五一、八四八	〇〇〇	三九、七三一	〇〇〇	二六、六〇四	〇〇〇
第一軍管	九〇六、五六四	〇〇〇	九五一、〇二七	〇〇〇	九四六、八〇〇	〇〇〇	四四、四六三	〇〇〇	四〇、二三六	〇〇〇
第二軍管	一九六、〇〇八	〇〇〇	二五六、一七五	〇〇〇	二三九、六四〇	〇〇〇	六〇、一六七	〇〇〇	四三、六三二	〇〇〇
第三軍管	三八〇、一〇〇	〇〇〇	四九五、五三三	〇〇〇	四三四、一八四	〇〇〇	一一五、四三三	〇〇〇	五四、〇八四	〇〇〇
第四軍管	六四一、八八〇	〇〇〇	八九七、五六四	〇〇〇	八二五、五九七	〇〇〇	二五五、六八四	〇〇〇	一八三、七一七	〇〇〇
第五軍管	四一〇、〇〇四	〇〇〇	四六六、四六三	〇〇〇	四三四、七六〇	〇〇〇	五六、四五九	〇〇〇	二四、七五六	〇〇〇
第六軍管	四六四、四〇〇	〇〇〇	六一一、三二八	〇〇〇	五八〇、六八〇	〇〇〇	一四六、九二八	〇〇〇	一一六、二八〇	〇〇〇
砲兵本廠	三〇〇、〇〇〇	〇〇〇	三七〇、二〇〇	〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	〇〇〇	七〇、二〇〇	〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇〇〇
砲兵支廠	一二〇、〇〇〇	〇〇〇	一〇七、〇〇〇	〇〇〇	二二〇、〇〇〇	〇〇〇	一三、〇〇〇	〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇〇〇
工兵第一方面	一四四、〇〇〇	〇〇〇	一五二、〇〇〇	〇〇〇	一二四、九八〇	〇〇〇	八、〇〇〇	〇〇〇	一九、〇二〇	〇〇〇
工兵第二方面	一五、九七二	〇〇〇	三六、五〇〇	〇〇〇	二一、八一五	〇〇〇	二〇、五二八	〇〇〇	五、八四三	〇〇〇
工兵第三方面	二一、五一六	〇〇〇	三一、〇〇〇	〇〇〇	二〇、二一五	〇〇〇	九、四八四	〇〇〇	一、三〇一	〇〇〇
工兵第四方面	四一、六四六	〇〇〇	五〇、〇〇〇	〇〇〇	三七、六五七	〇〇〇	八、三五四	〇〇〇	三、九八九	〇〇〇
工兵第五方面	二〇、二二〇	〇〇〇	三〇、〇〇〇	〇〇〇	二一、五三五	〇〇〇	九、七八〇	〇〇〇	一、三一五	〇〇〇
工兵第六方面	二四、六四八	〇〇〇	三三、五〇〇	〇〇〇	二三、五九九	〇〇〇	八、八五二	〇〇〇	一、〇四九	〇〇〇
士官学校	一五〇、〇〇〇	〇〇〇	一八二、〇〇〇	〇〇〇	一八二、〇〇〇	〇〇〇	三二、〇〇〇	〇〇〇	三二、〇〇〇	〇〇〇
戸山学校	六三、五〇〇	〇〇〇	三七、八〇〇	〇〇〇	七三、六〇〇	〇〇〇	二五、七〇〇	〇〇〇	一〇、一〇〇	〇〇〇
教導団	二七六、〇〇〇	〇〇〇	三〇五、〇〇〇	〇〇〇	二九八、八〇〇	〇〇〇	二九、〇〇〇	〇〇〇	二二、八〇〇	〇〇〇
幼年学校	六〇、〇〇〇	〇〇〇	五八、五〇〇	〇〇〇	五一、六〇〇	〇〇〇	一、五〇〇	〇〇〇	八、四〇〇	〇〇〇
本病院	一七〇、四〇〇	〇〇〇	一四一、四〇〇	〇〇〇	一一六、七六〇	〇〇〇	二九、〇〇〇	〇〇〇	五三、六四〇	〇〇〇
軍馬局	一四〇、八六八	〇〇〇	一五七、五〇〇	〇〇〇	一三八、三六〇	〇〇〇	一六、六三二	〇〇〇	二、五〇八	〇〇〇
病馬厩	二四、〇〇〇	〇〇〇	三〇、八〇〇	〇〇〇	二六、五八四	〇〇〇	六、八〇〇	〇〇〇	二、五八四	〇〇〇
裁判所	二〇、〇〇四	〇〇〇	二八、七〇〇	〇〇〇	二五、九〇八	〇〇〇	八、六九六	〇〇〇	五、九〇四	〇〇〇
兵器取締所	三〇、〇〇〇	〇〇〇					三〇、〇〇〇	〇〇〇	三〇、〇〇〇	〇〇〇
建築費			五〇〇、〇〇〇	〇〇〇	三六〇、〇〇〇	〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	〇〇〇	三六〇、〇〇〇	〇〇〇
合計	六、九五〇、〇〇〇	〇〇〇	八、六一二、七二九	〇〇〇	七、七二五、八八五	〇〇〇	一、六六二、七二九	〇〇〇	七七五、八八五	〇〇〇

表面ニ掲載スル甲ノ金額ハ昨八年七月ヨリ本年六月迄ノ定額金ニシテ乙ノ金額ハ本年七月ヨリ十年六月迄ノ経費豫算ノ金額ナリ丙ノ金額ハ本年二月廿八日第十五号官達経費豫算取調方之義昨八年豫算（則甲ノ金額）ヲ超過セサルハ勿論猶精々節減ノ見込相立減額可致旨ノ公布ニ基キ豫算再調ノ金額ナリ丁ノ金額ハ甲ト乙トヲ差引増減ヲ（黒記スルハ増朱記スルハ減）顕スモノナリ戊ノ金額ハ甲ト丙トヲ差引（黒記スルハ増朱記スルハ減）増減全ク前年定額金ト差引ノ金員ナリ

大正十一年四月
大隈侯爵家寄贈

No2

		自明治十年七月至仝十一年六月 經費豫算高	仝減額高
本省	定額	金百五拾八万八千五百三拾円	金百四拾四万三千八百円
	額外	金弐万弐千弐百拾円	金弐万弐千弐百円
参謀局	定額	金八万五千百八円	金八万五千百円
	額外	金一万六千七百一円	金壱万六千七百円
近衛局	本局	金三万五千五拾六円	金三万五千百円
	兵隊費	金三拾九万九千三拾九円	金三拾九万九千円
第一軍管	本台	金八万四千弐百八拾弐円	金八万四千三百円
	兵隊費	金七拾六万四千弐百四拾八円	金六拾四万八千六百円
第二軍管	本臺	金四万弐千三拾四円	金四万弐千円
	兵隊費	金三拾七万五千九百弐拾九円	金弐拾壱万七千九百円
第三軍管	本臺	金五万弐千七百三拾三円	金五万弐千七百円
	兵隊費	金三拾六万六千四百弐拾弐円	金弐拾九万三千五百円
第四軍管	本臺	金拾万六千弐拾壱円	金拾万千円
	兵隊費	金六拾九万五千四百八拾五円	金四拾五万七千七百円
第五軍管	本臺	金五万弐千七百拾円	金五万弐千七百円
	兵隊費	金三拾六万六千四百弐拾弐円	金弐拾八万六千六百円
第六軍管	本臺	金八万三千弐百拾壱円	金八万三千弐百円
	兵隊費	金四拾八万四千百七拾弐円	金三拾四万四千百円
砲兵本廠		金貳拾万円	金弐拾万円
砲兵支廠		金拾五万円	金拾五万円
工兵第一方面		金拾三万六千八百三拾壱円	金拾壱万四千円

大正十一年四月
大隈侯爵家寄贈

工兵第二方面	定額	金弐万千八百五十六円	金壱万四千五百円
	額外		金弐万三千円
工兵第三方面		金壹万九千七百四拾三円	金壱万四千五百円
工兵第四方面		金四万千弐百五拾四円	金弐万七千五百円
工兵第五方面	定額	金壹万九千八拾四円	金壱万四千五百円
	額外		金弐万九千五百円
工兵第六方面	定額	金弐万千六百四拾三円	金壱万九千円
	額外		金弐万七千五百円
士官學校	定額	金拾三万四千弐百八円	金拾三万四千弐百円
	額外		金百円
戸山學校		金八万弐千四百拾弐円	金七万四千八百円
教導團	本團	金六万六千五百弐円	金六万六千五百円
	兵隊費	金弐拾万六千八百八拾七円	金拾八万千九百円
本病院		金八万七千三百弐拾九円	金八万七千三百円
裁判所		金壱万九千七百八円	金壱万九千七百円
軍馬局		金拾壹万四千七百九拾弐円	金拾壱万四千八百円
病馬廐		金弐万五百八拾七円	金弐万六百円
合計		金六百九拾六萬三千[illegible]百四拾八圓	金六百萬圓

No.2

小銃同弾薬新製費及ヒ修理費

	七年間員数	一年間員数	七年間費額	一年間費額	一個ノ價額
新式銃製造費	拾萬挺	壹萬五千挺	金百貳拾萬円	金拾八萬円	金拾貳円
弾薬製造費	五千六百万發	八百万發	金百四拾萬円	金弐拾萬円	金貳戋五厘
スナイドル銃修理費	五万挺	七千挺	金弐拾八萬円	金三万五千円	金四円五拾戋
計			金弐百八拾八万円	金四拾壹万五千円	

備考

新式銃ハ拾万挺ヲ七ヶ年間ニ製造シ其七分一ヲ一ヶ年ノ製造高トス其費額ハ概子壱挺ノ費用工銀ニ八円材料ニ四円合シテ拾弐円ナリ弾薬製造ハ最初スナイドル弾薬ヲ製造シ而ノ漸次新式銃成功スルニ従ヒ新式銃適應ノ弾薬ヲ製造ス其費額ハスナイドル弾薬ト大差ナシ亦毎歳射的用ニ消耗スル数ハ凡五百万發之ヲ製造高ヨリ減スレハ非常準備ノ数一ヶ年壹（三）百万發七ヶ年七（弐千）百万發也

新式銃全備ノ期ハ七年ニシテ今ヨリ七年間常備及ヒ後備兵ノ携持スヘキ銃ハスナイドルナリ故ニ或ハ修理シ或ハ改造シ以テ之ヲ各隊ニ支給ス

大正十一年四月 大隈侯爵家寄贈

金三拾貮万七千円

金属薬筒製造所大阪砲兵支廠内ヘ新築費

但凡二年間ニ落成ノ見込

No4.

正帽衣袴　　略帽

區分	人員	代價計
步十六大隊	一万二千八十名（一大隊七百五十名）	十三万五千四百五十三円四十四銭
砲十一小隊	千五百六十二名	一万八千九百六十四円四十九銭
工七小隊	千〇二十九名	一万二千四百九十七円二十七銭五厘
輜五小隊	三百八十五名	四千五百七十五円八十二銭五
海岸砲七隊	九百九十四名	一万二千七十二円十三銭
計		十八万三千六百六十八円六十九銭
計		九千四百五十七円四十八銭

	區分	人員	代價計
略	同上	同上	七万九千四百五十七円七十六銭
衣	〃	〃	一万七百七十四円四十一銭二厘
袴	〃	〃	七千百六十四円六十九銭四
	〃	〃	六千七百十二円九十一銭
	〃	〃	千八百五十六円四十四銭四
定数二個	計		拾万六千九百六十六円四十八銭

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

單	襦	袢	袴	下		靴	下		
步 前日ヽ	砲 ヽ	工 ヽ	輜 ヽ	海 ヽ	計			計	
人員	前日ヽ								
代價					一万千八百九拾円〇五錢			一万〇三十一円二十九錢	
給	襦	袢	袴	下			靴	定數（一人二足）	
上同	ヽ	ヽ	ヽ	ヽ	計			計	
人員									
代價					二万千八 二万八千五百〇四円七十錢			四万八千百五十円	

	麻	甲	掛			長	靴		拍車
步	砲	工	輜	海	定數（一人二個） 計	砲	輜	海	砲輜
代價					九千九百十円九十錢				二万九千五百十三円
	靴		紐			冬	銅埜	胺	
					上同 計				计
					三百三十一円				千三百三十七円七十五錢

毛布

	歩	砲	工	輜	海	定数（一人二枚）計
人員		上同				
代價						十三万八千五百十二円五十五銭（一枚四円九十五銭厘）

背嚢並属具

		計
		預備共
代價		五万五千五百十一円三十銭二

	寐具	計
		預備共（一大隊八百壹）
代價		二万六千六百六十三円五十銭（一個二円四十六銭六厘）

	手帖	計
代價		二千四百〇七円五十銭（四人二冊一個三十二銭） 加 千六百八十五円四十五銭四

土工服

	砲	工	計
	十二小隊	七小隊	
人員	千五百六十二名	千〇二十九名	
代價			五千九百九十二円九十六銭（一個二円三十一銭三）

外套

	歩	砲	工	輜	海	計
代價						九万〇八百七十五円十銭（一個五円二十六銭二）

	庇頭巾	襦衣
砲兵		
	三千二百十二円九十五銭六厘（一個二円三十一銭三厘）	

歩兵十六大隊概算ノ見積（毎隊百六十名）

品目、

十五個（正帽衣ヨリ外套ニ至ル前ニ同シ）

計

十一万六千三百十二円六十弐

総計金九拾万〇千〇十一円八十九銭七厘

此内

○背嚢飯盒組甲掛[illegible]寝具[illegible]頭巾

夜具[illegible]兵営[illegible]

此代價拾五万千〇七百五円拾二銭六厘

○常備軍被服ホノ内即チ同項ノ分[illegible]

代價三拾六万三千四百十五円四十六銭六厘

差引金ノ此度調製ノ分

金三拾八万六千五百拾七円二拾九銭九厘

No 5

答欵

但上下士官除テ

第一　現兵一萬七千百二十名

但近衛合筭ス以下之例

砲兵十二小隊

工兵二小隊

第二　歩兵三十大隊

騎兵三小隊

輜重兵一小隊

第五第六軍管〻下目今
徴兵ハ員ニ筭セス

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

第三

但非職隊外ヲ合算ス
上士官千二百八十八名
但伍長ヲ合算ス
下士官三千十四名

第四

但砲隊所用
現馬四百二匹
但騎工輜右仝
仝五百二匹
但歩兵右仝
仝二百六十六匹
但將校第備及若干名[illegible]東西[illegible]合算[illegible] 右仝
仝四百一匹

東京
砲兵三小隊
工兵二小隊
営
宇都宮
新潟

第五

鎮臺
歩兵三大隊
騎兵二大隊
輜重兵一小隊
所
佐倉
高崎
各一大隊

仙臺
但函館
砲兵一小隊
歩兵一大隊
右仝
青森
一大隊

名古屋
聯
歩兵二大隊
右仝
金澤
一大隊

大阪
聯
砲兵三小隊
歩兵七大隊
右仝
大津
姫路
現今不置

廣嶋　歩兵一大隊

熊本　砲兵二小隊
　　　歩兵五大隊

營所

丸龜　一中隊（高松ヨリ分遣ス）
高松　一大隊
山口　一中隊（廣嶋ヨリ分遣ス）
台灣　砲一小隊
　　　歩一大隊

第六

教導團　三百七十八名

（楽隊廿四名）

第七

歩兵九千三百十七名（但三十大隊ノ補闕一隊ニ付平均三百十七人トシ）

（凡十六大隊ノ員）

全一万四千三百十名

砲兵千五百六十二名（但十小隊）

後備軍ハ一次徴募ヲ果スルニシテ
尤モ五ヶ年ヲ要ス下ニ[illegible]人欠
[illegible]別冊ニ詳記ス

工兵千二十九名（但七小隊）
輜重兵三百八十五名（但五小隊）
海岸砲九百九十四名（但小隊）

第八

山砲七十二門
野砲三十六門

近衛（ツンニール）携帯
スナイトル二千五百五十二挺
東京鎮台（シヤスポー）
スナイトル六千五百四十挺
仙臺名古ヤ廣嶋
エンピール一万三千八挺
熊本
スナイトル五千三百七十挺
大阪鎮台
ツンナール五千九百二十二挺
各鎮台砲隊輜重兵携帯
スペンセール
スメール（ヒストル）五千百九十二挺

第九

大砲八門（ロクルフ二門伸六斤六門）

此他旧藩還納之大砲目今諸道府県或ハ鎮台ニ預付スル砲若干有官員巡廻検査中

銃ハ各現兵ノ携帯種類ニ応シテ十五分一ヲ予備銃トシテ付与シ置ク

スナイトル銃五千二百挺（内二千二百挺東京武庫ニ在）

此外検査未済ノ銃千五百挺

武庫格納ノ各種銃修調ノ上実用スル銃員凡七万

第十

スナイトル銃ノ銅管製作ノ器械二個

工兵所用器械若干品目枚挙ニ遑アラス

（予備）ヤスオール弾薬百九十六万二千発

スナイトル三百三十九万六千五百発

エンヒール三百九十万二千四百発

ツンナール百七十七万六千六百発

スターロヒストル及スヘンセール百五十五万七千五百発

携帯銃一挺ニ付平均二百発ヲ準備ス

山野砲共一門ニ四百発ヲ常備ス（榴弾霰弾四十発宛摩擦管十五発二十五本宛ナリ）

両砲装薬六千三百六十貫目

（予備）スナイトル九万六千発（此本在リ）

全四十二万発

火薬四十万斤

此他府下泉新田目黒并各場ニ若干預付スル斤目ハ未詳ナレハ今ハ略ス

第十一

東京　砲工騎輜ノ四兵ニ支給所属諸器械ノ并物品ハ大略製造ス旧来ノ大小銃ヲ良巧ニ改換シ或ハ修調ヲ当分ノ用ニ充テシム漸次盛大ノ規模アリ

大阪　右全ク目今旧製ノ大砲七十余門ヲ変製シテ不日実用ニ充テシム

茨　鹿児島

旧山口藩ノ十銃製造所アリ目今才五千挺ニ遅
細スル小銃等專ラ改製實際ニ用ユルヲ要ス

大砲及スナイトル才ノ弾薬ヲ製作スル器械有之
山野砲十二門昨癸酉ノ年撃潰シテ未タ造改ス

第十二

東京　大阪

スナイトル弾薬十八万発　但一ヶ月製作スル額

和歌山　鹿児島

ツンナール弾薬三万発ヲ製作ス　但一ヶ月ノ額

スナイトル弾薬九万発　右仝シ

第十三

英國　橋乙

スナトル五万挺

大砲三十六門（六座分）前車及附属一切

代八拾万四千弗ニテ注文中

佛国
美国

第十四

英國

スナイトル弾薬製造ノ器械一組追ゝ到着ノ筈也

第十五

俸給

歩兵六千〇三十円二十七銭
砲三千三百八十七円二十六銭三厘
騎千七百三十一円三十八銭七厘

別表ニ詳記ス

第十六

糧食

工三千九百六十一円七十銭八厘
輜千六百十八円九十四銭

出戦費

但日員五十六日ノ算計

砲二千八百十二円五十銭二厘
騎七百六十四円十八銭四厘
歩四千四百六円六十六銭四厘
工三千七百六十三円九十四銭八厘
輜七百九十六円八十八銭八厘

右上

第十八

常備ノ外十七〇アヘラニス（数個アル）戦時治療器械運搬スル然
平時各所病院費別表ニ詳記ス

第十九

士官生徒百九十二名（但現今入校ノ員）
幼年仝百四十二名

目今召集ノ士官生徒五百八十二名ト是ニ
野営演習費将官以下従僕馬丁ニ至ル一千人ニシテ一日ノ
費二百九十六円八十五銭六厘
熊本鎮台新募ノ兵二大隊ハ来ル十月中入営ノ筈
広島仝二大隊ヲ二ツニ分チ入営ノ（済ム　済ム）来ル十月十五日限リ入営
工兵二小隊全国志願者召募中

No.6

諸兵一大隊一ヶ月分（俸給）糧食表

名稱	俸給	賄料	食糧料	消耗品	馬飼料	通計
歩兵（但八小隊）	二千三百九拾五円拾銭二厘	千七百七拾八円六十四銭五厘	千六百五拾四円四十五銭	百六十五円五拾二銭貳厘	十五円八拾七銭八厘	六千〇三拾円二十七銭七厘
砲兵（但二隊）	千四百三拾八円二十五銭七厘	五百七拾八円十五銭三厘	五百拾三円七拾七銭五厘	四十七円貳拾八銭四厘	八百〇壱円八拾壱銭四厘	三千三百拾七円二十六銭七厘
騎兵	五百拾五円七十九銭四厘	三百九円十五銭五厘	貳百八十円〇五銭	三十九円九拾八銭五厘	五百十六円壱銭九厘	千七百三十円三拾銭七厘
工兵	千九百七十八円五拾九銭	九百三十円四十八銭	八百四十六円八拾銭	百三円六十三銭四厘	百三円貳拾銭四厘	三千九百六十円七拾銭八厘
輜重兵（但一小隊）	四百〇貳円五拾八銭	百九十四円拾三銭五厘	百七拾七円貳銭五厘	十九円九拾壱銭六厘	八百七十七円六拾九銭一厘	千六百十八円九拾四銭
一ヶ月計	六千七百九十八円四十銭三厘	三千七百八拾円十二銭一厘	三千四百拾三円拾銭	三百九十六円三拾三銭五厘	貳千二百五十四円二十銭六厘	一万六千七百二十二円五拾七銭五厘
備考	此表ニ掲クル金員ハ平時営中ニ在テ給与スル高也戦時ノ代ハ此表外旅籠料増給等ヲ増ス					

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

No 7

東京ヨリ長崎ニ至ル入費概算表

隊号	内國出征ノ積 一日ノ増給	内國出征ノ積 手当金	内國出征ノ積 五十六日ノ計	海外出征ノ見込 一日ノ増給	海外出征ノ見込 手当金	海外出征ノ見込 五十六日ノ計
砲兵一大隊	十円六十二戋二	六百八十五円	千二百七十九円八十三戋二	三十一円八十六戋七	千〇二十七円五十戋	二千八百十二円五戋二り
騎兵一大隊	二円七十六戋三	二百円	三百五十四円七十二戋八	八円二十八戋九り	三百円	七百六十四円十八戋四り
歩兵一大隊	十九円二十九戋三	七百八十一円	千八百六十一円四十戋八	五十八円三戋九り	千百五十六円五十戋	四千四百六円六十八戋四り
工兵ハ一大隊	十四円五十〇戋三	八百八十五円	千六百九十七円十六戋八	四十三円五十戋八り	千三百二十七円五十戋	三千七百六十三円九十四戋八
輜重一小隊	二円九十七戋四	二百円	三百六十六円五十四戋四	八円八十七戋三り	三百円	七百九十六円八十八戋八り
通計			五千五百五十九円六十八銭			一万二千五百四十三円七十五戋六

備考

○出征手当金ハ士官以上ニシテ内國ハ俸給一ヶ月分海外ハ一ヶ月半ヲ賜ルナリ

○増給ハ内國ハ士官軍曹以上ハ五分ノ二伍長以下四分ノ一海外ハ軍曹以上五分ノ三伍長以下四分ノ三ヲ賜ルナリ

[illegible]

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

No 8

5

六管鎮臺病院一ヶ年經費概計表

本病院	拾四万〇九百七拾三円九拾銭
苐一軍管營所病院	貳万五千五百貳拾円五拾八銭
苐二軍管病院	壱万貳千五百五拾壱円五拾三銭貳厘
苐三軍管病院	貳万〇八百貳拾八円七拾壱銭貳厘
苐四軍管病院	三万八千三百八拾円五拾八銭四厘
苐五軍管病院	壱万五千八百貳拾六円六拾九銭貳厘
苐六軍管病院	貳万貳千七百貳拾八円拾三銭貳厘
計金貳拾七万六千八百拾円拾三銭貳厘	
新募兵十六大隊増員ニ付經費	八万八千五百七拾九円貳拾四銭貳厘
合計金三拾六万五千三百八拾九円三拾七銭四厘	

	一日分	一ヶ年
師團兵員九千人 内患者千三百五十人 糧食薪炭燈油代價	貳百九拾八円三拾五銭 壱人ニ付二拾二銭壱厘	壱万〇七百四拾円六拾銭 同上
附属人員（軍吏軍醫軍属）千五百九十四人 同上	三百五拾貳円貳拾七銭四厘 同上	拾貳万六千八百拾八円六拾四銭 同上
	計金六百五拾円〇六拾貳銭四厘	計金拾三万七千五百五拾九円貳拾四銭
患者千三百五十人 藥剤其他諸費	百六拾八円七拾五銭 壱人ニ付十二銭五厘	六万〇七百五拾円 同上
	合計金八百拾九円三拾七銭四厘	合計金拾九万八千三百〇九円貳拾四銭

[illegible]

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

5

No9

陸軍兵學寮一ヶ年入費概計表

兵學寮	三拾三万〇百五拾貳円拾九銭
士官學校	三万貳千貳百七拾貳円六拾九銭
被服（兵学寮定額外）	壱万九千七百四拾四円八拾銭
幼年學校	三万三千三百貳円六拾八銭
戸山學校	六千円
苐一學舎	貳万九千七百六拾四円〇三拾銭
計金四拾三万千四百八拾七円八拾六銭	
金壱万九千七百四拾四円八拾銭	
合計金四拾五万千貳百三拾貳円六拾六銭	
士官生徒 召募 五百八十二名 給與概計	三万五百三拾四円〇九拾壱銭五厘 但 三ヶ月見込
野營演習入費概計	
将官以下従僕馬丁ニ至ル人員千八百七十名 日數四十九日間	貳万七千貳百円
同一千名ニテ一日分	貳百九拾六円八拾五銭六厘

陸軍第十九綴ノ四行

大正十一年四月
大隈侯爵家寄贈

No 10.

陸軍教導團入費概計表

	教導團	内訳 給料	小営繕	團費	兵器修理	被服料	臨時	諸隊	内訳 砲兵隊	工兵隊	騎兵輜重隊	海岸砲兵	歩兵隊	樂隊	喇叭隊	合計
黒書 一ヶ月 朱書 一ヶ年	金四千四百五拾九円 金五万三千五百〇八円	貳千五百円 三万円	三百五拾円 四千二百円	四百円 四千八百円	貳百円 貳千四百円	九円 百〇八円	千円 壱万貳千円	金壹万三千四百八拾八円五銭三厘 金拾六万千八百五拾六円六十三銭六厘	三千九百三拾円四拾七銭壹厘 四万七千百六十五円六十五銭二厘	二千四百拾三円〇三銭七厘 二万八千九百五拾六円四拾四銭四厘			五千六百三拾五円四拾三銭六厘 六万七千六百二拾五円二十三銭二厘	千五百九円拾銭〇九厘 壹万八千百九円三十銭八厘		金壹万七千九百四拾七円五銭三厘 金貳拾壹万五千三百六拾四円六十三銭六厘
下士官生徒召募ニ付 黒書 一ヶ月 朱書 一ヶ年	金八千九百拾八円 金拾万七千〇拾六円	五千円 六万円	七百円 八千四百円	八百円 九千六百円	四百円 四千八百円	拾八円 二百拾六円	貳千円 貳万四千円	金貳万九千六百九拾四円五拾七銭六厘 金三拾五万六千三百三拾四円九十一銭二厘	四千貳百九拾五円三拾二銭三厘 五万千五百四拾三円八拾七銭六厘	二千八百〇三円九拾二銭五厘 三万三千六百四十七円十銭	二千六百四拾円六拾四銭四厘 三万千六百八拾七円七十二銭八厘	二千百五拾八円四拾九銭七厘 二万五千九百〇壱円九拾六銭四厘	壹万五千六百四拾五円三拾六銭九厘 拾八万七千七百四拾四円四拾二銭八厘	千五百九円拾銭〇九厘 壹万八千百九円三十銭八厘	六百四拾壹円七拾銭〇九厘 七千七百円五十銭〇八厘	金三万八千六百拾二円五拾七銭六厘 金四拾六万三千三百五拾円九十一銭二厘
附言		文武官員等外小使ニ至ル迄給料宿直料并武官宅料共	團營轄所拾円以下小営繕修理	團并病舎雑器及消耗品等ノ諸費	諸職工給料并地金皮其他道具炭等ノ諸費	團附下士官被服料	旅費免職賜金及埋葬料ホ其他ノ諸臨時費見込		上下士官及生徒ノ諸給養并士官馬飼料宅料共	同	同	同	同	同	同	

備考

小銃大砲弾薬被服寝具ハ乗馬駄馬及馬具其他現品渡ノ分算入セス

喇叭隊ハ諸科ノ集合ニ付隊付士官ノ科目難定ニ付一月騎兵課給ヲ以テ算計ス

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈